

2017年PR養成基礎講座 第6回講座

森林整備 I (人工林)

2017/6/24

NPO法人日本パークレンジャー協会

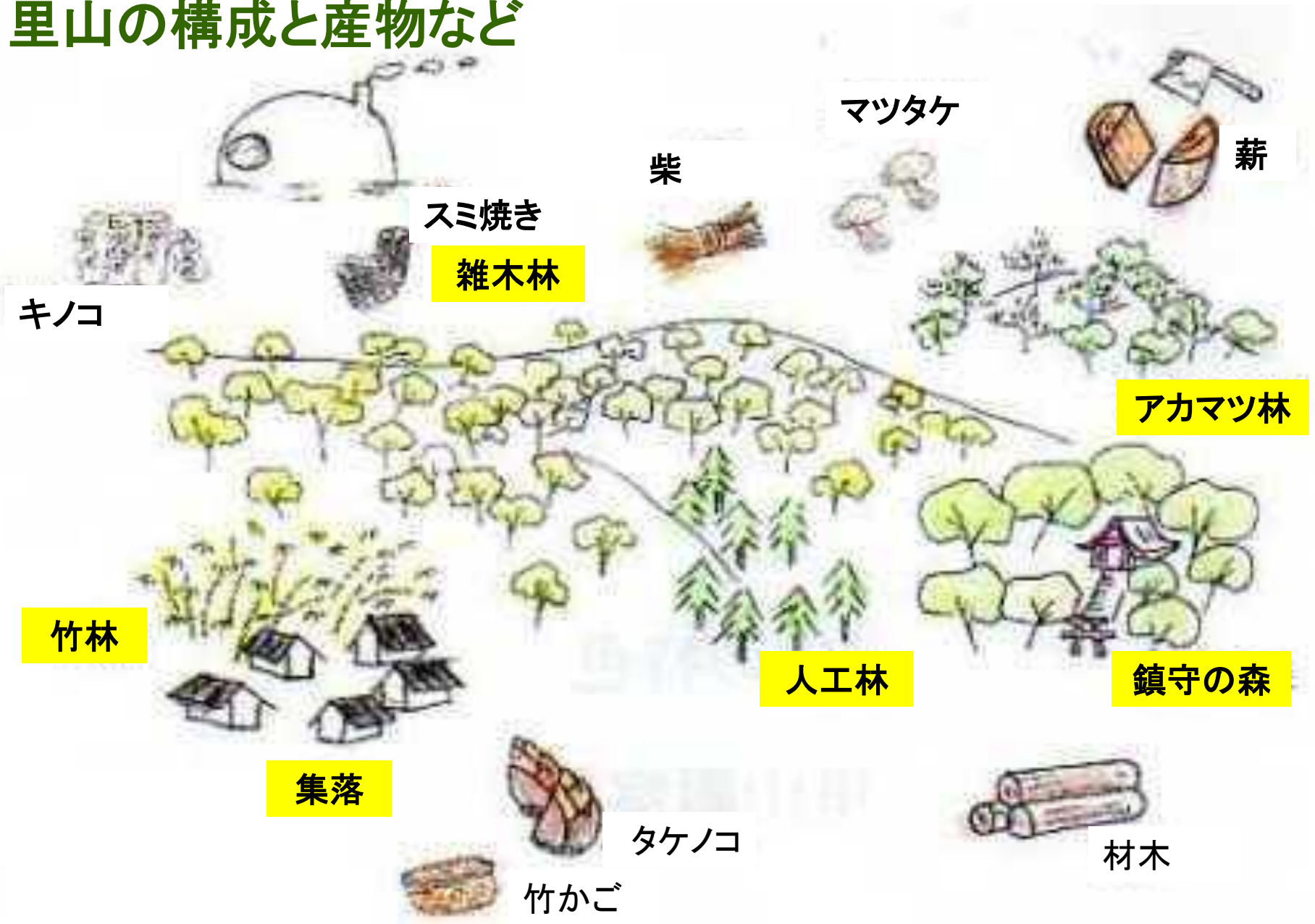


里山のイメージ



あなたの里山のイメージは？

里山の構成と産物など



森林の役立ち

- ・保水 → 水の供給と洪水・土砂崩れ・流出防止
- ・二酸化炭素を吸収する/空気の浄化
- ・木材の供給（色々な木製品）
- ・燃料の供給（マキ、炭）
- ・色々な生きもの生息の場（どんな生き物がいるでしょうか?）
- ・リクレーション・癒し・環境教育の場（森林体験）
- ・その他：(色々な)保安林

森の役立ちを子どもに分かり易く伝える言葉を考えて見て下さい



森の移り変わり(遷移)

昔

(人が利用した森)



今

(人が利用しなくなった森)



常緑樹を伐る

あなたの今の森の印象は？ 昔の森を想像してみてください

私たちの森林整備活動の目的

- ① 明るくて綺麗な森にする → 里山の景観、季節の草木花
- ② 森林整備で出た材の利用 → シイタケ、マキ
園地整備用材、クラフトなど
- ③ 市民参加の活動に展開 → 自然と人をつなぐ、環境教育

主な作業内容(基本は手作業です)

- 下草・ササ刈り(景観を良くする、湿地の回復)
- ヒノキ林の枝打ち・間伐(10m四方当り15本程にする)
- 雑木の除伐 (常緑のソヨゴ、カシ、ヒサカキなど)
- 竹林の伐採
- 定例活動: 月3回(第2、4土曜と第4土曜の週の月曜)

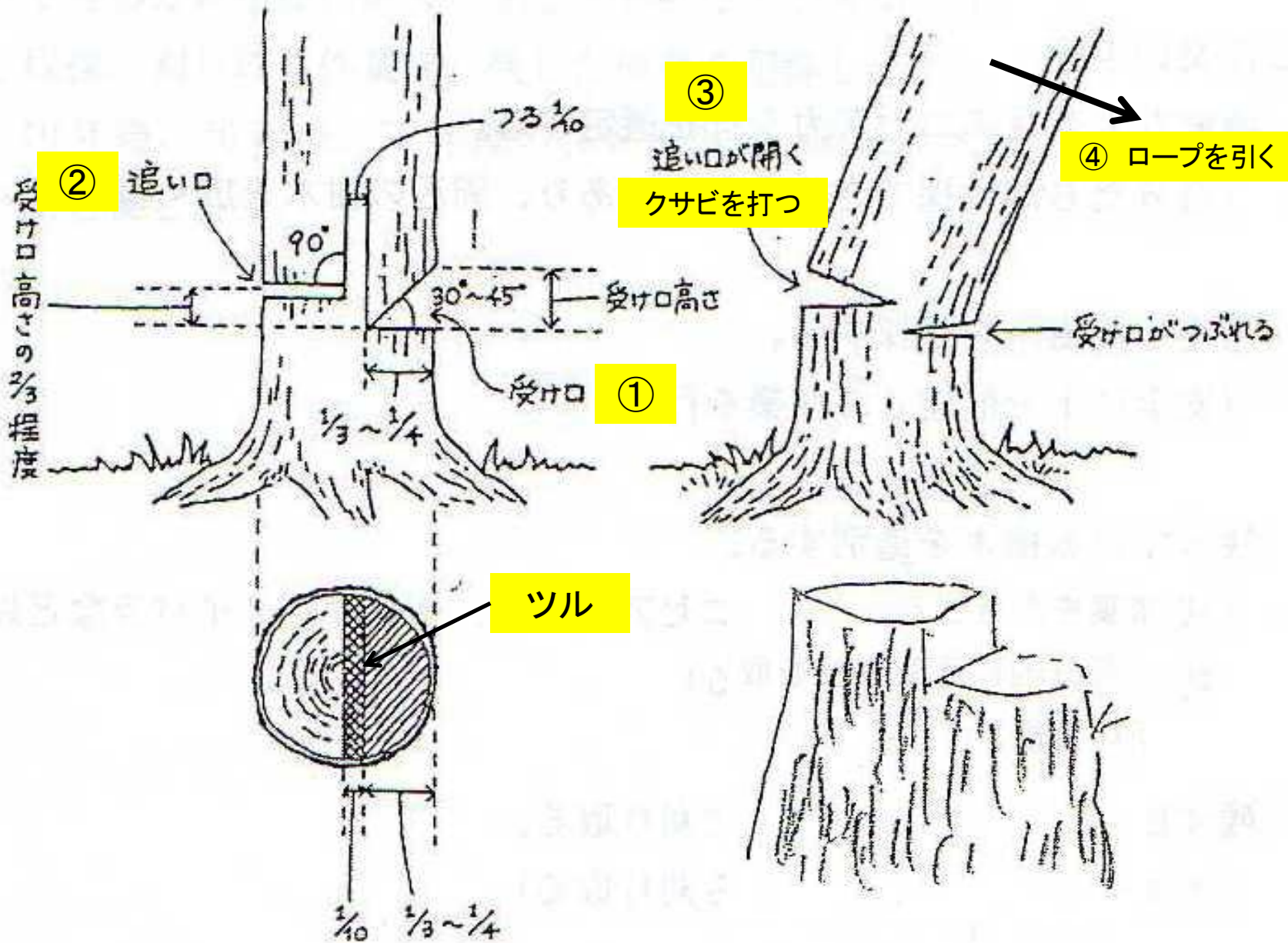
自分たちが森林整備をするだけでなく市民に森林体験を伝える役割を果たす

受け口/追い口

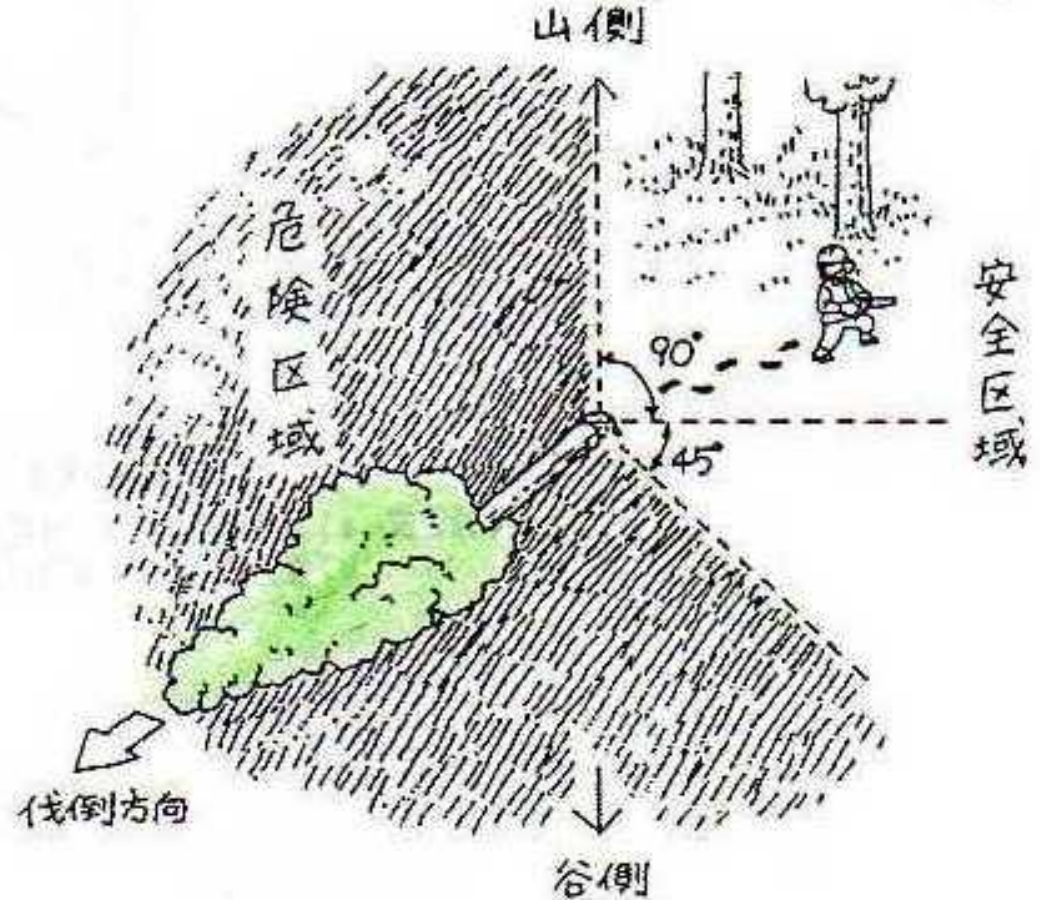
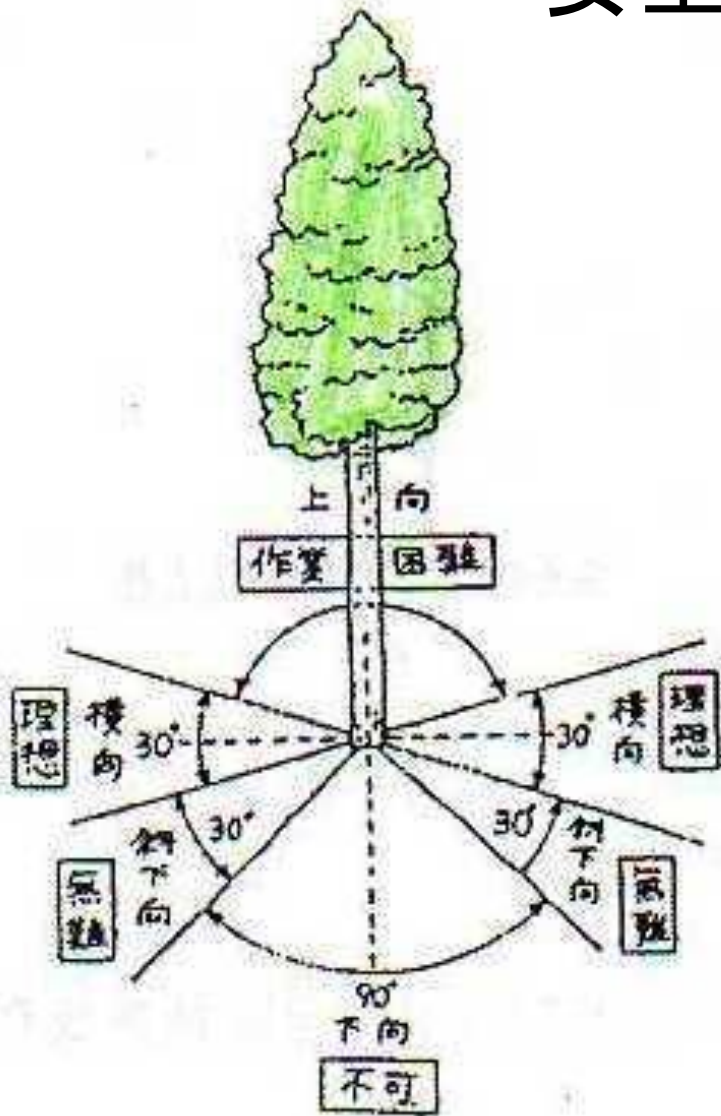
伐倒方向



全国林業改良普及協会
森づくりワークブック人工林編より



安全な伐倒方向

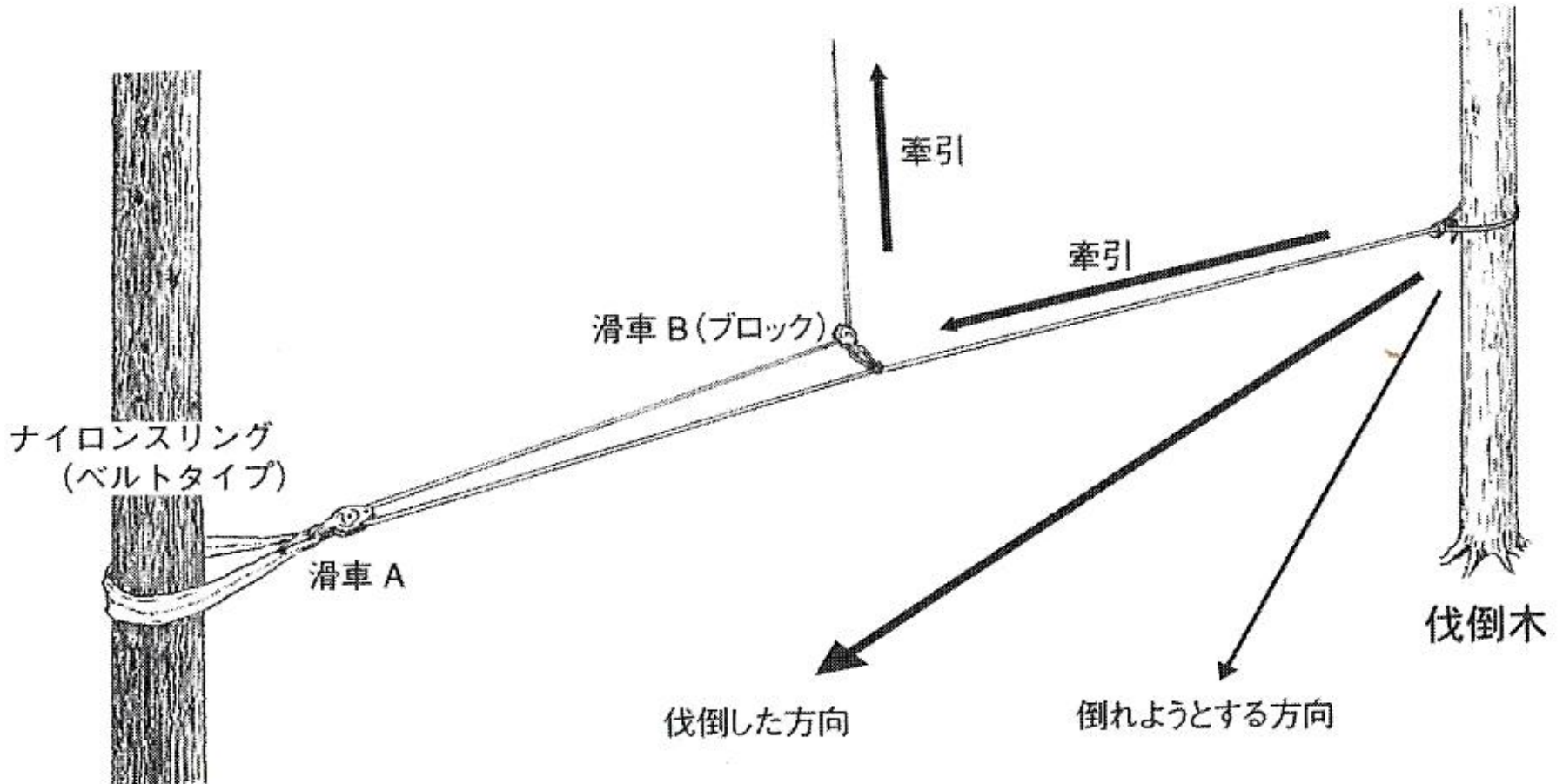


全国林業改良普及協会

ニューフォレストーズ・ガイドより

ロープを使った伐倒コントロール

倒す木



支点になる木

森林整備の服装と持ち物

【主な持ち物】



ヘルメット

黒色のものは
さげましょう



カラーベスト

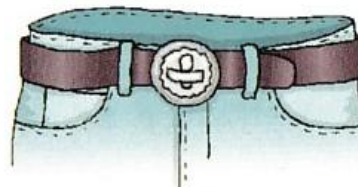


皮手袋

すべりにくいもの



ゴーグル



ベルト

あらたに用具を
取り付けることができる



長そでシャツ・長ズボン

夏でも長そで長ズボンが良い。
虫刺されや植物によるひっかき傷を
防ぐことができるし、疲れにくい



ウエストバッグ

ウエストバッグは
用具が取り出しやすい



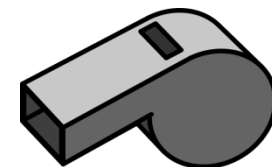
ザック

持ち物が
全て入るのが
便利



運動靴、登山靴

歩きやすいもの



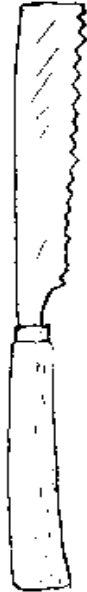
ホイッスル

主な道具

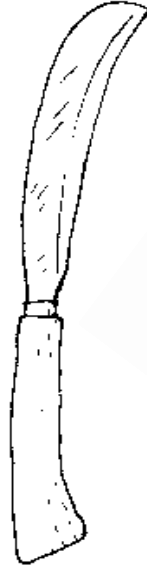
剪定はさみ



手ノコ



ナタ



草刈りガマ



刈込バサミ



その他: ロープセット、クサビ、ハンマーなど

森林整備の安全管理

1. 体調が悪い時は作業しない
2. 周囲を良く確認する（上下左右前後）
3. 伐倒半径樹高の2倍退避
4. 足場を固め避難場所の確認 をしてから作業開始
5. 伐倒時は事前に警笛(受け1回、追い2回、終了長く1回)
6. 良く切れる刃物を使う
7. 危険動植物に注意（マムシ、スズメバチ、ウルシ）
8. 長時間作業しない / 適宜休憩と補水に努める
9. ノルマはありません / 自分の体力に合わせて作業

活動は自分のペースで楽しんでやるのが長続きのコツです